

# エスペラント ★

Verda Placo 2015 Aŭtuno

みどりのひろば 2015年 秋

N-ro 32

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



Hejmo de la gepatroj de YANAGITA Kunio

Fotis s-ro TADA Ryuji( la 3a de Octobro 2015 )

## 回想： Rond創立の頃（2）

### 第16回関西大会

峰 芳隆

前号では、1965年のRond創立から66年度のKLEG賞（団体）を67年の関西大会で受けたところまでお話ししました。

その67年の第15回大会は和歌山市で開催されました。翌年の大会を姫路で開催できないかと打診されていまして、どんな準備が必要か、大会に参加して体験してみようと、向井孝さん、黒田（吉田）信子さんたち7人が行きました。参加者は89人で、これならやれそうというので、姫路が引き受けることになりました。

大会は1968年5月12日。会場の姫路工業大学（現・兵庫県立大学工学部）のキャンパスは、現在の書写ではなく、姫路城の北東に位置する姫路工業高校と同じ場所にありました。工大のエスペラント研究会の諸君が、亡くなった藤井富朗さんを中心に、会場の準備を担当してくれました。参加費500円で、参加者109人。当日の番組表はガリ版。しかし、GvidiloやRaportoは無く、記念品もありませんでした。

（この記念写真はメイン会場の階段状の大きな講義室で撮影）



開会式の各Rond代表あいさつは全員女性で、高槻エス会のコーラスや大阪の学生グループの劇などがありました。しかし、この頃の大会では、市民向けの講座や講演などの公開番組はありませんでした。大会前日の5月11日には、「手柄山青年の家」で、宿泊を兼ねた前夜祭を催しました。



また、大会直前の4月末には、その青年の家で1泊2日の学習合宿を開いたことも懐かしい思い出です。

図の記念スタンプは、京都の斎藤英三さんが描いて、呉のハンコ屋さんの平川寿さんが作ってくれたものです。もちろん、お二人ともエスペランチストでした。

(daūrigato)

## エスペラントを思う

**稲田正昭**

私が中学生の時、教科書でザメンホフの事を知り、図書館でエスペラント語のことを調べました。そこに書いてあった“人は自国語と、どの民族にも平等なエスペラント語を学ぶことにより、相互理解をより深めることができる”との考えに共鳴しました。高校生の時、日本エスペラント学会から「小坂エスペラント講座」を取り寄せ、一人で発音から学びました。社会人となってから峰氏と出会い、勉強会に参加したり、一人でも多くエスペラント語を知ってもらおうと、数人で市の広報板に講習会のポスターを貼って回ったことを、今は懐かしく思い出します。そう、丁度今頃の季節でした。金木犀の花の香りがあちこちで、漂っていたことを懐かしく思い出します。

話は変わりますが、私が20才位の時、尊敬していた教会の牧師さんに（その頃はキリスト教に強く関心を持っていました。）、エスペラント語を学んでいることを話した時、文化を持たない、また経済力のないエスペラント語が世界共通語になることは出来ないと断言され、とても反発したことを思い出します。残念ながら、今のところ、牧師さんの言われたことが現実ですね。ザメンホフの理想とするところは素晴らしい、だのに何故賛同する人が増えないのだろう。エスペラント語でもって多方面の文化を創り出しているのに、今のところはぼんやりとして、境界のないエスペラントの社会があちこちにあるような状態。それで良いのか、それが良いのか、それも良いのか私には分からない。さしあたり現実的にはエスペラント語を各自がそれぞれの方面で活用して行くと共に、宣伝活動に力を入れて、少しでも広めていかなければならないのかなあと思っています。 以上

## Rakonto pri Ĵeiku (4)

### BABA Tokie

Kiujn manĝaĵojn Ĵeiku amas? Estas ridinde, ke li ne amas manĝaĵon por hundo. Sed li amas “ジャーキー、歯磨きガム、エチケットガム、さつまいも、”k.t.p. Kaj li estas tre ĝoja kiam li vidas la saketojn. Tamen ili estas intermanĝetoj. Estas ne bone por li manĝi ilin multe. Li amas ankaŭ manĝaĵojn por homo. Sed ili estas altkaloria por hundo. Nun mi donas iom da banano, iom da brokolo kaj kvin sekigitajn fiŝetojn ĉiutage. Mi ne scias, ĉu li estas sata aŭ malsata. Mi supozas, Ĵeiku eble estas malsata. Sed li ne manĝis manĝaĵon por hundo. Mi konsultis flegistinon de animala hospitalo. Ŝi diris, ”verŝu akvon sur manĝaĵon.

“Unue li manĝis ĝin, sed baldaŭ li ĉesis manĝi ĝin. Kaj li manĝis ĝin sur mia mano, Antaŭ kelkaj tagoj mi estis okupita, matene mi eliris. Li ne manĝis dum la tago. Li atendis min. Kaj li manĝis ĝin sur mia mano, li vidis mian vizaĝon feliĉe. Tiam liaj okuloj estis tre ĉarmaj.

Antaŭ kelkaj tagoj mi trovis “ふりかけ” en vendejo. Tuj mi aĉetis ĝin. Kaj mi donas ĝin miksinte kun manĝaĵo por hundo. Li manĝas ĝin tre ĝoje. Sed li serĉas “ふりかけ” en manĝaĵo, kaj manĝis nur ĝin. Li estas lerta. Nun mia semo de embaraso estas, kial Ĵeiku ne manĝas manĝaĵon por hundo.



ドッグフードを manĝaĵo por hundo. で表現しました。

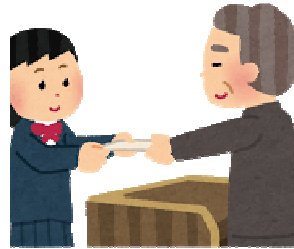
## エスペラント通信講座をおえて

中村雅子

姫路での関西エスペラント大会を終えた時、通信講座で勉強してみようかしら、と思ったもののすぐには決断出来ませんでした。大前さんから約2ヶ月遅れて8月末から始め、ちょうど1年かかってようやく終了することができました。最初はわりと早いペースで答案を出していましたが、だんだん難しくなるし、忙しくて2～3週間も放っておくこともあり、後半はかなりペースが遅くなりました。それでもきちんと理解して進みたかったので、わからない所は質問すると、ちゃんと説明が返ってきてありがたかったです。

読み物の「イワンの馬鹿」はけっこう難しいと感じましたが、テープを巻き返しては繰り返し聞いて音読を心がけたので、最後の方はわりと読めるようになったと思います。

いまや旧世紀の遺物かもしれませんが、聞き取りや音読の勉強にはテープは有用だと思います。受講生通信を通じて他の受講生やエスペラントの活動を知ることが、励みになりました。



## エスペラント、動画制作に関して

水谷一志

今回、はりまエスペラント会、設立50周年記念の一環ということで、また、本年より、JEIで、エスペラントを紹介する動画コンクールが開催されるということで、僕が中心になって、エスペラントに関する宣伝用の動画を作ることになりました。そして、製作に関して、はりまエスペラント会の会員に、寄付・声の出演等で協力してもらい、また、僕の友人（一緒に趣味で映像制作等をしています。）にも協力してもらい、動画製作を進めることとなりました。

動画の内容は、「とある普通の男の子が、ある女性に一目惚れをし、その女性と接点を持つために、エスペラントを勉強し始める…。」という、少し不思議な物語です。

動画の製作に関して、僕自身、ある程度経験は積んできたつもりで

したが、エスペラントを題材にするのは初めてということで、やはり苦勞しました。特に、登場人物の、エスペラントの台詞をどうするかが難しく、塚本さんに、翻訳をお願いしました。それで、編集作業も順調に進み、動画は8月の始め頃、完成しました。

最後になりますが、僕の友達も含め、動画製作に協力してくださったみなさん、本当に、ありがとうございました。

### 日本エスペラント協会のFejsbukoより引用

エスペラントの魅力を広く紹介するために、今年から新設された「エスペラント紹介動画コンクール」記念すべき第1回は残念ながら最優秀賞の該当作品はありませんでしたが、今後の更なる動画制作を期待して、今回特別に奨励賞を2作品に授与することにしました。

最優秀賞 該当なし

奨励賞— 水谷一志『En la Kafejo de Esperanto』

牧野三男『世界に響け 平和への願い（エスペラントで歌う小学生）』

La konkurso de filmetoj

Ĉi-jare JEI lanĉis la novan konkurson de filmetoj, kiuj celas prezenti Esperanton

al la japana publiko. Kandidatiĝis du verkoj.

La rezulto: La unua Premio Neniu

Kuraĝiga Premio

Al s-ro MIZUTANI Kazushi kaj al s-ro MAKINO Mitsuo

## 秋の福崎を散策しました。

### 多田龍二

峰さんからメールがあり、7月4日に以前、関西大会で特別講演された橘先生が、福崎文化ホールで講演をされたとのこと。

お天気もいいし無性に福崎に行きたくなり、3日(土)に電車に乗りました。姫路から播但線に乗り換え福崎駅に行きました。

すぐに、文化センターに行き、事情を説明したら、会議中にも関わらず所長に面会できました。セミナー担当者は不在とのこと、

少し話をしてから、柳田國男の生家を見に行きました。ずいぶんと整備され、子供連れの人たちもたくさんいました。河童の池 柳田國男記念館、もちむぎの館がありました。

もちむぎのやかたで昼食を取り、もちむぎ麵を土産に買った。

ぶらぶらと散策しながら、ふと日本玩具博物館を思い出し、帰

り道 播但線香呂駅で下車して、歩いて見学に行きました。

山口県見島の“鬼ようず”に会いたかったのです。以前、Verda placon-ro5 で紹介しました。孫に鬼ようずを作って一緒に揚げたことを思い出しました。館内を見学して、さて帰るときに時刻表を聞くとあと20分しかない、逃すと1時間待ちだ どうしようと思案していたら、受付の人が少し待ってと奥に入って行きました。



なんと、館長が出てきて、私の車で送りましょう、それならば間に合いますとのこと。うれしいやら、感激で乗せてもらいました。間に合いました。一日楽しい17,000歩の散策小旅行でした。

なんと、館長が出てきて、私の車で送りましょう、それならば間に合いますとのこと。うれしいやら、感激で乗せてもらいました。間に合いました。一日楽しい17,000歩の散策小旅行でした。

### **福崎町文化センターよりメールが来ました。**

福崎文化センターにお伺いした際に名刺を置いてきました。

当日、夜にメールが入っていました。ありがとうございます。

---

メールにて失礼いたします。福崎町文化センターの楠田 真と申します。見出しの件で、わざわざご来館いただき、ありがとうございました。

橋弘文先生の講演会は、平成27年度福崎町サルビアセミナーという生涯学習講座(無料一般公開)の一環として行いました。

日時：7/4(土)13:30-15:00

会場：福崎町文化センター小ホール

演題：『柳田國男とエスperantの人々：初期グローバリゼーションの希望』

講師：大阪観光大学観光学部観光学科 教授 橋弘文先生

福崎町は民俗学の父・柳田國男の生誕地であり、その顕彰事業にも取り組んでおります。

今回はエスperantティストとしての柳田に焦点を当て、エスper

ラントとの出会いによって柳田民俗学の学問的發展につながったことを伝えたいと思い、企画いたしました。

演題が当初の『柳田國男とエスペラントの人々』から『柳田國男とエスペラントの人々：初期グローバリゼーションの希望』に変更になり、内容も拡充されたものになりました。

話の流れとしましては、大きく以下になります。

- 1、エスペラントの歴史や日本での展開
- 2、柳田國男とエスペラントの出会い
- 3、エスペラントを通じた文化人の交流
- 4、初期グローバリゼーションとエスペラントの関連性

なお、聴講者は60名でした。

若い頃にエスペラントに興味を持っておられた高齢者の方から、20～30代の若者まで幅広い年齢層でした。

もともと柳田や民俗学に関心がある方、エスペラントって何だろう？と思った方、柳田とエスペラントにどういう関係があるのか興味を持った方が多かったように思います。

聴講者からは、「エスペラントという言葉を知り、興味を持った」、「柳田國男の新しい側面を発見した」といった感想をいただきました。

以上、簡単ではございますが、ご報告させていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。

福崎町役場社会教育課 福崎町文化センター主査 楠田 真

柳田國男生家やもちむぎのやかたの近くにある辻川山公園のため池  
河童の河太郎と河次郎がいます。今でも柳田國男さんの帰宅を待っています。





## Mem faru! (7)

### La trejna maŝino por tabloteniso

TADA Rjuĝi

Mia nepino estas en la kvina lernoĵaro de elementa lernejo, Ŝi estas sportema kaj vigla knabino. Ŝi partoprenas al naĝa klubo kaj Skoltina movado, plie komencas tablotenison en klubo. Kiam mi havas liberan tempon, mi ludas kun la nepino tablotenison. Sed mi estas laca. Mi pensis aĉeti maŝinon por tabloteniso en vendejo. Mi rete traserĉis ilin. Ili estas multekostaj. Do, mi mem faru tion. Mi refoje traserĉis en reto. Mi planas kunmeti kelkajn manierojn.

#### 1. Parto por stoki pilkojn

Mi aĉetis plastan sitelon en centjena vendejo.

#### 2. Parto por elsendi pilkojn

La parto eligas po unu pilkon per turniĝo de dentrado.

#### 3. Parto por ĵeti pilkojn

Modelan elektromotoron mi uzis.

Rezulte tuta kosto estis ĉirkaŭ 2300 jeno.

Nun mi faros parton, kiu svingas kaj ĵetas pilkojn.

Mi plibonigos ĝin laŭ progreso de ŝia tekniko pri tabloteniso.



## ＜行事報告と行事予定＞

### ☆第100回世界大会報告会

8月22日（土）イーグレひめじ・ボランティア室にて14時から第100回世界大会参加の塚本会員による報告会を催した。参加者は左前から 塚本、稲田、多田 左後から小林(竹田)、久保田、馬場、三鍋、大前、中村の10名。プロジェクターを使って、中身の濃い話を聞かしていただきました。

第100回世界大会はフランスのリールで7月25日から8月1日に開催されました。80カ国から2698人の同志が集まったそうです。

大会中に遠足で第1回大会地のブーローニュ・シュル・メールに行き、ザメンホフ博士の孫のd-ro L. C. Zaleski- Zamenhofとその娘が参加し、110年前ザメンホフが第1回大会の記念講演をしたその席で歓迎あいさつが行われた。、市役所までの道を”ESPERANTO”の横断幕を先頭に、みんなが歌いながら記念パレードしたり、駅前の広場ではザメンホフ像除幕式、献花、セレモニーを行った。驚いたのは古城と一体となった市役所の塔の上にはいつもは市旗を飾っているところに緑星旗が掲げられていた。町全体が歓迎ムードで一杯だったのでしよう。来年はスロバキア、再来年は韓国・ソウルで開催予定です。

(多田記)



☆第20回姫路国際交流フェスティバル

日時：10月25日（日） 10：00－15：00

場所：姫路城北側の大手前公園

世界大会の写真パネル、エスペラント学習パネル、  
3分間学習コーナー、エスペラント・クイズ 等  
会員の皆様の応援をお願いします。

☆2015年神戸・はりまエスペラント祭（ザメンホフ祭）

日時：12月12日（土）13：00－17：00

場所：神戸市青少年会館

（神戸市立勤労会館5階、JR三ノ宮駅南側から東へ5分）

会費：500円

ザメンホフ祭は図書購入の絶好のチャンスです。読みたい本、  
使ってみたい学習書など手にとってみられる機会でもあります。  
購入したい本、CDなどありましたら 事前に事務局に連絡して  
下さい。とりよせて、ザメンホフ祭当日に手に入ります。

\*\*\*お願いとご注意\*\*\*

**メーリングリストの取り扱いについて**

メーリングリストは大変便利で、大勢の会員に同時に共通情報を流すことができます。ぜひ、ご参加ください。

PCにかぎらずスマホでも登録できます。

新規登録は アドレスを塚本会員にご連絡ください。

なお、現在登録者は 峰、稲田、馬場、多田、大前、久保田、  
塚本、三鍋、中原、吉田(敬称略) 以上10名

**ご注意：**メーリングリストからメールを受信した場合に返信を  
そのまますると、メンバー全員に送信されます。

ご注意ください。発信人を確認して、送信してください。

**学習例会の記録** Kie, kiam, kiuj kunvenis kaj kune lernis?

**<姫路：イーグレ第4会議室> 学習例会は午後1時半～4時**

7月23日(木) 中村、大前、三鍋、馬場、中川、峰

8月27日(木) 中村、大前、三鍋、馬場、峰

9月24日(木) 中村、大前、三鍋、馬場、峰

9月26日(土) 中村、水谷、塚本、多田

、CDエクスプレス中心に、土曜日は水谷会員中心の学習。

**<加古川：加古川総合文化センター> 学習例会は午後2時～4時**

9月20日(日) 休会

作文課題の復習、“Katrina malfruas”, の輪読、訳 k t p

**<Skajpo> 学習は毎週水曜日 20時～21時**

7月1、8、15、22日 8月5、12、19、26日

9月2、9、16日

動画について、pri mia semajna okazaĵo

**今後の予定** Kie, kiam ni kunvenos?

★**姫路** (第4木曜日, 午後1時半～4時, イーグレ第4会議室)

10月10日、10月22日、11月19日、12月24日

**\* 月1回土曜日午後にボランティア室で学習会の予定**

★**加古川** (午後2時～4時, 加古川文化センター第3会議室)

11月15日、1月17日、3月20日

“Turismo en Harima regiono” 作成予定

★**Skajpo** (毎週水曜日 20時～21時)

**編集後記**：日が経つのも早いものです、暑い暑いと言っていたのはチヨット前のような気がします。これから、秋のフェスティバル、ザメンホフ祭と行事が詰まってきました。読書の秋、エスペラント語勉強も熱が入るような気がします。いっそう、エスペラントの学習に励みたいところです。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 32 2015年10月17日

発行：はりまエスペラント会 Harima Esperanto-Societo

(〒671-1222 姫路市網干区宮内 106-3 稲田正昭)

編編集：多田龍二 明石市西明石町5-6-2 [trvuji@sky.plala.or.jp](mailto:trvuji@sky.plala.or.jp)

